



令和 6 年 度

博士課程前期 2 年の課程学生募集要項

(令和 6 年 4 月入学)

〔一 般 選 抜〕

令和 5 年 4 月

東北大学大学院工学研究科

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、募集要項の内容を変更する場合がありますので、本研究科下記 URL の大学院入試情報 Web ページに注意してください。

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/>

【工学研究科の入学選抜方針（博士課程前期2年の課程）】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には、創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す、次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学を学ぶための基礎学力
2. 問題解決のための論理的思考能力
3. 教育・研究環境に適応し、国際的に活躍するための語学力

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生等特別選抜、推薦入学特別選抜、9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜、早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜、および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し、上記の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

一般選抜では、各選抜の実施単位である系・専攻ごとに工学に関する基礎知識と専門的知識を評価する筆記試験等および入学者としての適性を見るための面接試験等を適宜組み合わせを行い、語学力を合わせて総合的に評価して選抜を行います。

なお、入学前に、専門分野の高度な知識を習得し研究を行うために必要な基礎学力を身につけておくことを希望します。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は、東北大学の伝統である「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念の下、自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし、安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し、将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成、並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え、社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。具体的には、前期課程にあつては、研究遂行に必要な幅広い基礎学力と語学力を習得し、研究課題を独自の発想によって展開させ、論文等として発表する能力を備えるとともに、専門分野における研究能力、あるいは研究・技術指導のための基本的能力と高度な技術を有する人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では、所定の期間在学し、工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、所定の単位以上を修得し、高い倫理観と責任感、そして以下の知識と能力を身につけた上で、修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した学生に対して、修士（工学）の学位を授与する。

1. 研究課題の本質を理解し探究できる幅広い基礎知識と基礎学力
2. 専門分野に関する深い知識
3. 専門分野に関連した学際的知識
4. 異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力
5. 研究の課題設定と課題解決能力
6. 研究の高度な実践能力と応用展開能力
7. 研究の遂行に必要な語学力
8. 研究指導または技術指導のための基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では、ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう、以下の方針に沿って教育を行う。

1. 研究課題の本質を理解し、研究を遂行、展開するために必要な幅広い基礎知識、高度な専門知識及び専門分野に関連した学際的知識を修得させる。
2. 研究課題に対する高度な実践能力、その研究課題を独自の発想によって展開できる能力を育成する。
3. 研究の遂行及び研究成果を発表するのに必要な語学力を育成する。

上記の方針を実践するため、工学研究科全体で共通科目を開講するとともに、専攻ごとに専門基盤科目、専門科目、関連科目を設定し、カリキュラムマップにより教育課程の全体像を把握できるようにしている。専門基盤科目は主に講義形式で提供し、専門科目は講義形式の他、セミナー、修士研修等で構成されている。講義形式の科目は、各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し、科目ごとに教授内容、達成方法、時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。セミナー科目は最新技術あるいは自身の研究成果に関する発表および討論を通して当該分野の研究課題を俯瞰する力や研究の実践力を養成する。修士研修は個別の課題に関する研究と修士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力と展開力および語学力を養う。

講義科目では、定期試験やレポート等の手段により基礎知識、基礎学力、専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。セミナー科目では発表や討論を通して学術論文や技術資料を理解する能力を当該専攻の教員が評価する。修士研修では研究室における研究活動、国内外の学会における発表、修士学位論文および審査会における議論の内容を基に、独自の発想により研究課題を展開させ遂行する能力、学会における研究発表や討論の能力、外国語によるプレゼンテーション能力、演習・実験の補助能力、学術報告書の作成能力等を指導教員が評価する。

1 募集する系・専攻及び募集人員

系・専攻名	募集人員	系・専攻名	募集人員
機械系4専攻 機械機能創成専攻 ファインメカニクス専攻 ロボティクス専攻 航空宇宙工学専攻	171名	化学・バイオ系3専攻 応用化学専攻 化学工学専攻 バイオ工学専攻	79名
		材料科学系3専攻 金属フロンティア工学専攻 知能デバイス材料学専攻 材料システム工学専攻	93名
量子エネルギー工学専攻	38名		
電気系3専攻 電気エネルギーシステム専攻 通信工学専攻 電子工学専攻	114名	土木工学専攻	43名
		都市・建築学専攻	45名
応用物理学専攻	32名	技術社会システム専攻	21名
		計	636名

備考 上記の募集人員には、推薦入学特別選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生等特別選抜の募集人員を含みます。

2 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者及び令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了する見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了する見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を

- 受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月までに修了する見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

[注1] 出願予定の者のうち、本学に雇用されている者については、令和5年6月9日(金)までに工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注2] 出願資格(6)によって出願しようとする者は、事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

[注3] 出願資格(9)、(10)によって出願しようとする者は、出願資格審査を行いますので、事前に志望する系・専攻の事務室(別表備考欄参照)へ問い合わせてください。

[注4] 本研究科は、「大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)であって、本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」に関する出願資格は適用しません。

3 オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（1～2ページ）や出願に必要な書類（4～6ページ）等をよく確認してください。
- ・出願書類の「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項6ページの指示に従い、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。
- ・振込後、ATMの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付け、そのスキャンデータをTAOの出願登録サイトでアップロードしてください。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、志願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。
- ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように、確認しながら慎重に行ってください。
- ・出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上で出願情報を登録することで完了します（同時にシステムから出願完了のメールが届きます）。なお、出願完了後は、TAOの「出願一覧」画面で該当の選抜が「完了済」タブに表示されているか確認してください。

出願を完了する

【注意事項】

出願完了後すべてのデータは編集不可となります。
入力がすべて完了しているか再度確認してください。

☒ 上記確認のうえ出願する。

キャンセル

はい

出願状況	募集名	募集締切日時
☆ 取り消し済	東北大学 / 工学研究科 / 工学研究科18専攻 (博士前期2年の課程) / 一般選抜	
☆ 出願完了	東北大学 / 工学研究科 / 工学研究科18専攻 (博士前期2年の課程) / 一般選抜	

出願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO と表記します。）を使って下記の手順に従い、出願期間内に申請手続を行ってください。**なお、出願期間は令和5年6月28日（水）9:00 から7月13日（木）16:00（日本時間）までです。**

【方法】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。

<https://admissions-office.net/portal>

2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/工学研究科/博士前期2年の課程/一般選抜」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。

3. 下記の書類をPDFファイル化し、出願フォームにアップロードして提出願います。

また、提出する証明書は原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合は各証明書の発行元が証明した和訳又は英訳を添付してください。

上記の取り扱いが困難な場合は、出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は、入学手続時に「成績証明書」「卒業（又は修了）証明書」（ただし、本学工学部卒業者は提出不要）及び出願時にPDFファイルで提出した英語スコアシートの原本を提出することが求められます。また、出願資格（2）で出願した者（例：高専又は短大専攻科修了（見込）者 他）は「学位授与証明書」も併せて提出することが求められます。オンライン出願システムにアップロードした書類と、入学手続時に提出した原本の内容に相違がある場合、あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は、書類不備として入学許可を行わないことがあります。

提出書類等	摘 要
入 学 願 書	オンライン出願システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履 歴 書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html
成 績 証 明 書	出身大学の学部長、短期大学長等又は高等専門学校等の学校長が発行するもの。（ただし、本学工学部の学部生として在学している者は提出不要です。また、高等専門学校専攻科に在籍している者は、学科在籍期間の成績証明書も提出してください。）

<p>TOEFL® Test 又は TOEIC® Listening & Reading Test (以下、TOEIC®公 開テストと記載) スコアシート</p> <p>有効となる試験: TOEFL®Test PBT, TOEFL iBT® Test , TOEIC®公開テスト</p>	<p>化学・バイオ系3専攻(応用化学専攻, 化学工学専攻, バイオ工学専攻)を志願する者は提出不要です。</p> <p>◆<u>第324回から第327回までのいずれかのTOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合の提出期限は【8月1日(火)】となります。当該スコアシートの提出を希望した者に対して提出方法を後日案内しますので、その案内に従って提出してください。</u></p> <p><u>本研究科では、TOEFL iBT®テストにおいて Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します(MyBest®スコアは利用しません)</u></p> <p>注 一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 例) 第323回 TOEIC®公開テストのスコアシートを提出後、第324回から第327回 TOEIC®公開テストなど別のスコアシートを再提出することはできません。</p> <p>注 出願期間外に提出できるスコアシートは、<u>第324回から第327回 TOEIC®公開テストのスコアシートに限ります。</u> 例) 第323回までの TOEIC®公開テストのスコアシートや TOEFL®Test のスコアシートを「3 オンライン出願手続方法及び出願期間」に記載の出願期間外に提出することはできません。</p> <p>※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。</p>
卒業(見込)証明書又は 修了(見込)証明書	出身大学の学部長, 短期大学長等又は高等専門学校長が発行するもの。
学位授与(見込)証明書 又は学位授与申請(予定) 証明書	大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長又は高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書 (ただし、出願資格(2)による出願者のみ。)
受験票・写真票	<p>下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。</p> <p>https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html</p> <p>写真票には上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。</p>
住民票	<p><u>本邦に在留する外国人の方(在留期間が90日を超える者)のみ</u>提出してください。</p> <p>(出願日前3か月以内に発行されたもので個人番号(マイナンバー)の記載がなく、在留資格が明記されたもの)</p>

<p>検 定 料</p> <p>30,000円を 7月12日(水)までに右 記により支払いのうえ、 「検定料納付確認書」を 提出すること</p>	<p>① 下記 URL から所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html</p> <p>② 検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピーを<u>検定料納付確認書に貼り付けて</u>ください。 ※振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名を登録すること。 ※振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの ※振込手数料については、出願者本人負担となります。</p> <p>金 額：30,000円 納入期限：7月12日(水)【期限厳守】 銀 行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259225 口座名義：国立大学法人東北大学 カ ナ：ダイトウホクダガク</p> <p>③ 国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください(4月下旬掲載予定)。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html</p> <p>④ 海外在住の方等で、上記金融機関への振込みが非常に困難な場合は、事前に大学院教務係(9頁参照)までご連絡ください。</p>
<p>あ て 名 票</p>	<p>オンライン出願システムのあて名票フォームに必要事項を入力してください。</p>
<p>受 験 承 諾 書</p>	<p>【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの(社印等のあるもの・様式随意)。</p>
<p>◎下記2点の書類は外国人留学生及び外国の大学で学校教育を受けた者のみ提出願います。</p>	
<p>確 認 書</p>	<p>本研究科所定の様式で受入れ予定教員又は専攻長が作成したもの。 (研究計画等を確認していることを記したもの) 下記 URL から所定の確認書ファイルをダウンロードし、事前に受入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員又は専攻長に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/master.html *化学・バイオ系3専攻(応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻)を志願する者は、工学研究科化学・バイオ系事務室(chē-kyom@grp.tohoku.ac.jp)に確認書の作成について別途問合せてください。</p>
<p>日本語能力試験等の証明書または日本語教員・指導(予定)教員等が作成した志願者の日本語能力を示す書類(様式随意)</p>	<p>機械系4専攻(機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻)の志願者は提出してください。 上記以外の専攻を志願する者は提出不要です。</p>

前記のほか、学力を表す論文・報告書又は教員の推薦書等の資料を PDF ファイル化し、出願フォームにアップロードしても構いません。

4 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和5年8月29日（火）から31日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（詳細については、各専攻から本人あてに通知します。）

〔注意〕同じ試験日程で行われる複数の選抜（例：一般選抜と外国人留学生等特別選抜 等）を受験することはできません。

5 合 格 者 発 表

令和5年9月6日（水）17時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト (<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>) に発表する予定です。

なお、合格者に対しては、合格通知書を郵送します。電話による問い合わせには回答できません。

6 入 学 手 続 等

（１） 入学手続は、令和6年3月中旬に実施の予定です。詳細については、令和6年2月下旬に入学手続書類を送付する際にお知らせします。

（２） 入学時の必要経費

① 入 学 料 282,000円（予定額）

② 授業料前期分 267,900円（年額535,800円）（予定額）

注1 上記の納付額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、令和6年2月下旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。また、免除、徴収猶予等の手続きに関しては、東北大学のウェブサイト (<https://www.tohoku.ac.jp/>) にアクセスし、「東北大学で学びたい方へ」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

7 長期履修学生制度の適用

本研究科では、特別の事情〔注1〕によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する〔注2〕ことを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

入学時に長期履修学生制度の適用を希望する者は、合格後の入学手続日までに所定の願い出を行う必要があります。また、在学途中からの長期履修学生への変更もできますが、その場合の長期履修期間は標準修業年限内における残り在学可能期間の2倍までとなります。なお、標準修業年限内における残り在学可能期間が1年未満の者は変更できません。

[注1] 該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者

② 出産・育児、介護等を行う必要がある者

③ その他、本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

[注2] 長期履修期間は4年を超えることはできませんが、許可された長期履修期間の短縮を願ひ出すことはできます。

なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

8 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動機の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
- (3) 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取り扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

9 教育・学習データ利活用について

本学では、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、個人情報保護に留意しつつ、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を有効かつ適正に利活用しています。入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

10 注 意 事 項

- (1) 「研究室案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は、東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（<https://www.eng.tohoku.ac.jp/>）に掲載していますので、出願の際には必ず確認してください。
- (2) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (3) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。

- (4) 募集事務に関することは、工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。
- (5) 合格者が募集人員に満たなかった場合、専攻によっては第2次募集を行うことがあります。
その募集要項は、11月上旬頃に発表する予定です。
- (6) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。
- *相談の期限：原則として令和5年6月16日（金）まで
- *申出書に記載する内容
- ① 志願者の氏名・住所・電話番号
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上配慮を希望する事項
 - ④ 修学上配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (7) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入に際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和5年4月

東北大学大学院工学研究科

（工学部・工学研究科教務課大学院教務係）

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04

電話（022）795-5820

e-mail：eng-in@grp.tohoku.ac.jp

別表 (前期2年の課程：令和6年4月：一般選抜(入学))

専攻	試験科目	試験日時	試験内容	備考
機 械 工 学 専攻 機 械 工 学 専攻 機 械 工 学 専攻 機 械 工 学 専攻 機 械 工 学 専攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	願書受付期間後に提出できる回のTOEIC®公開テストのスコアシートを提出する場合も、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。)
	数 学 A (必答)	8月29日(火) 9時30分～10時30分 (集合時間8時50分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によって，筆答試験および面接を免除することがある。
	数 学 B (必答)	8月29日(火) 13時00分～14時00分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(2) 筆答試験の成績によっては，面接を実施しないことがある。
	専門科目 (選択)	8月30日(水) 9時30分～11時30分	熱力学，流体力学，材料力学，機械力学，制御工学 以上の5科目から2科目を選択。	(3) 各科目の出題範囲については，専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.mech.tohoku.ac.jp/
	面 接	8月31日(木) 13時30分～ (集合時間13時00分)		(4) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030
量 子 エ ネ ル ギ ー 工 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。	
	数 学 A (必答)	8月29日(火) 10時00分～11時30分 (集合時間9時30分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	(1) 成績証明書の内容によっては筆答試験を免除することがある。
	数 学 B (必答)	8月29日(火) 13時00分～14時30分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ変換・級数，ラプラス変換	(2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか，あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.qse.tohoku.ac.jp/
	専門科目 (選択)	8月30日(水) 10時00分～11時30分 (集合時間9時30分)	領域Ⅰ：流体力学，材料力学，機械材料学，電磁気学，量子力学，化学基礎 領域Ⅱ：放射化学，放射線工学，原子炉物理学 ・以上の9科目から2科目を選択（領域Ⅱから選択できるのは1科目まで）。	(3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施方法に変更がある場合には後日通知する。
	面 接	8月31日(木) 13時30分～ (集合時間13時00分)	入学者としての適性	専攻照会先： 機械・知能系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7030

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
電 通 電 気 エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL® Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	(1) 成績証明書の内容によっては、筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは以下のホームページで確認すること。 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei-web/admission/ (3) 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。
	基 礎 科 目	8月29日(火) 9時40分～10時40分 (集合時間9時00分)	電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択。	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL) 022-795-7186
	専 門 科 目	8月30日(水) 9時40分～10時40分 (集合時間9時00分)	電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択。	
応 用 物 理 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。	特別な事情がある場合は、下記照会先に相談のこと。
	基 礎 科 目	8月29日(火) 9時30分～11時45分	力学、電磁気学、量子力学の3問	過去の入試問題は次のホームページに掲載している。 https://www.apph.tohoku.ac.jp/ 電卓および計算機能、通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各試験の科目や実施方法に変更がある場合は変更内容を後日通知する。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系教務担当 (TEL) 022-795-7186
	専 門 科 目	8月29日(火) 13時00分～14時30分	統計力学、物性物理の2問	
	面 接	8月30日(水) 13時00分～		
応 化 バイ 用 学 オ 化 工 工 学 学 専 専 攻 攻 攻	英 語	8月29日(火) 10時00分～11時20分	TOEFL ITP®Test (Level 1)を実施する。ただし、Listening Comprehension は評価の対象としない。	(1) HB の鉛筆またはシャープペンシルを必ず持参すること。 (2) 成績証明書の内容によっては、筆答試験及び面接試験を免除することがある。 (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できないと判断された場合の試験方法については別途受験者に通知する。 (4) 防疫上の理由により、試験日程を変更する場合がある。(TOEFL ITP®Test に代わり、筆答試験を実施する場合もある) 専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7205 専攻ホームページ： http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	基 礎 科 目	8月29日(火) 本学化学・バイオ工学科卒業(見込)の者： 13時30分～16時30分 他系、他学部、他大学の者： 14時15分～16時30分	無機・物理化学(化学結合論、平衡と速度)、有機化学(構造、物性、反応)、生物化学(構造、機能、代謝)、化学工学(量論、移動現象論) ただし、 本学化学・バイオ工学科卒業(見込)の者：上記の4題必答。 他系、他学部、他大学の者：上記の4題の中から3題選択。	
	専 門 科 目	8月30日(水) 9時00分～12時00分	①無機・物理化学(結合・構造論、反応論、物性論)3題 ②有機化学(物理有機化学、有機合成化学、高分子化学)3題 ③生物化学(生体機能化学、応用生物化学、生体情報化学、生物物理化学)4題 ④化学工学(反応工学、機械的単位操作(レオロジーも含む)、分離工学、プロセスシステム(制御も含む))4題 以上の4分野14題の中から4題選択。ただし、2分野以上から選択のこと。	
	面 接	8月30日(水) (実施時間は専攻より指示する)		

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容	備 考
材料システム工学専攻 知能デバイス材料工学専攻 金属プロセス工学専攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。	対象となる TOEFL®Test 及び TOEIC®公開テストの種類等詳細については、以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html
	数 学	8月29日(火) 13時00分～14時00分	微分・積分、常微分方程式 線形代数(ベクトル・行列・行列式)、ベクトル解析、複素関数論、フーリエ級数・フーリエ変換、ラプラス変換など	(1) 成績証明書の内容によって、筆記試験を免除することがある。 (2) 電卓の持込みを認めない。 (3) 日程等については個別に連絡する。
	専 門 科 目	8月30日(水) 9時00分～11時40分	物 理：質点・剛体の力学、電磁気学、振動・波動など 化 学：原子・分子の構造、化学結合、化学反応、化学熱力学、有機化学基礎など 材 料 化 学：材料物理化学、材料電気化学、移動現象論、金属精錬・精製学、応用材料化学、材料プロセス工学など 材料物性学：結晶回折学、固体物性学、材料強度学、材料組織学、電子材料、磁性・誘電材料、材料設計など 材料加工学：材料力学、連続体力学、材料試験、鋳造・粉体・塑性加工、溶接・接合、材料評価学、加工解析学など 以上5科目10題中から任意に4題を選択	*詳細については専攻に問い合わせるか、あるいは以下のホームページで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html *新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については別途受験者に通知する
	面 接	8月31日(木) 9時00分～12時00分		専攻照会先： マテリアル・開発系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7373
土 木 工 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL®TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。	(1) 電卓・辞書および計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 成績証明書の内容によっては、専門科目を免除することがある。 (3) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のホームページを参照すること。 http://www.civil.tohoku.ac.jp/admission.html
	小 論 文	8月29日(火) 9時30分～11時00分	土木工学関連のテーマ	
	基 礎 科 目	8月29日(火) 13時00分～14時00分	以下の4問から2問を選択すること。 微分積分(1問)、線形代数(1問)、確率統計(1問)、生物・生態学(1問)	(4) 本学土木系とは社会基盤デザインコース、水環境デザインコース、都市システム計画コースを指す。
	専 門 科 目	8月29日(火) 15時00分～16時00分	以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学： 構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学： 水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学： 計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問)	(5) 面接の日時・場所、試験時の注意事項等は専攻から通知する。 (6) 詳細は専攻に照会すること。 (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合はオンラインで実施する。詳細な試験方法については、試験実施前にオンライン接続確認を行うので、その際に連絡する。
	面 接	8月29日(火) 又は8月30日(水)		専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489

専 攻	試験科目	試験日時	試験内容		備 考
都 市 ・ 建 築 学 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去２年以内に受験した TOEFL® Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。		(1) 志願講座毎に専門科目が異なるので注意すること。 (2) 調査書の内容によっては、筆答試験を免除することがある。 (3) 電卓、辞書の使用は認めない。 (4) 共通科目の出題内容及び専門科目の過去の入試問題は、本専攻のホームページを参照のこと。 http://www.archi.tohoku.ac.jp (5) 出願手続き前に、あらかじめ志望する分野の受入れ予定教員に相談すること。 (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での試験が実施できない場合の試験方法については、別途受験者に通知する。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489
	共 通 科 目	8 月 29 日 (火) 10 時 30 分～12 時 00 分	都市・建築デザイン、都市・建築計画、建築史、建築環境・設備工学、建築材料、建築構造の各分野について、それぞれの基礎的知識を問う 4 問を出題		
	専 門 科 目	8 月 29 日 (火) 13 時 30 分～16 時 30 分	都市・建築デザイン学講座	設計製図	
			都市・建築計画学講座	建築計画、都市計画、建築史に関する問題を各 1 ～ 3 問程度出題	
			サステナブル空間構成学講座	建築環境・設備工学、建築材料学、建築構造学に関する問題を各 1 ～ 3 問程度出題	
			建築構造工学講座	建築構造力学、鉄骨造、RC 造、振動論、建築防災工学に関する問題を各 1 ～ 3 問程度出題	
技 術 社 会 シ ス テ ム 専 攻	英 語		入学試験実施日から過去２年以内に受験した TOEFL® Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。		(1) 成績証明書の内容によって、筆答試験の一部を免除することがある。 (2) 口頭試問の日時・場所は、専攻より別途通知する。 専攻照会先： 事務室 (TEL) 022-795-3863 専攻ホームページ： https://www.most.tohoku.ac.jp
	小 論 文		一般常識および本専攻がカバーする専門分野とそれに関する社会問題を題材とした小論文によって、本専攻での修学にふさわしい論理的思考力、表現力、基礎学力を有しているかを評価する。 出願者に別途、選択式のテーマを事前に送付するので、指定の期日までに提出すること。		
	口頭試問	8 月 29 日 (火) ～ 8 月 31 日 (木) (専攻より指示する)	小論文の内容について発表。小論文と発表の内容に対して試問を行う。また、基礎学力、および入学後の研究分野の適性についても評価する。口頭試問の時間は 1 人あたり 3 0 分程度である。		